

消化器内視鏡

ENDOSCOPIA DIGESTIVA

創刊：1989年4月
発行形態：月刊 毎月25日発行
判型/頁：B5判/120頁
発行部数：7,000部

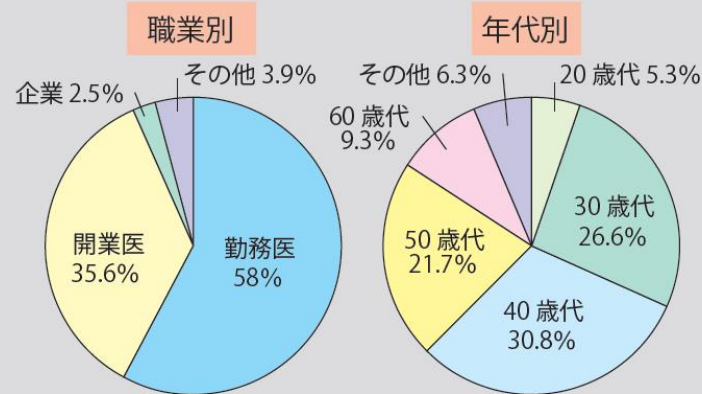
読者対象

消化器内科・外科医, 内視鏡技師などのコメディカルスタッフ

本誌の特長

消化器内視鏡の正しい発展と、卒後教育のための最新情報を提供。カラー写真やイラストを必要十分に用いた、見やすく理解しやすい誌面。毎号アトラクティブな特集を組み、技術解説、基礎知識、症例報告、貴重な内視鏡像を交えながら、トピックスや最先端技術を紹介する。

購読者の対象別分布



広告料金

表紙2	1頁	320,000円	4色
表紙3	1頁	250,000円	4色
表紙4	1頁	400,000円	4色
目次下	1/5頁	62,000円	1色
前付	1頁	200,000円	4色
前付	1頁	85,000円	1色
記事中	1頁	60,000円	1色
記事中	1/2頁	36,000円	1色
綴込み	1枚	138,000円	

その他の特殊頁広告については最寄りの代理店まで、お問い合わせ下さい。
*表示の広告料金は消費税別です。

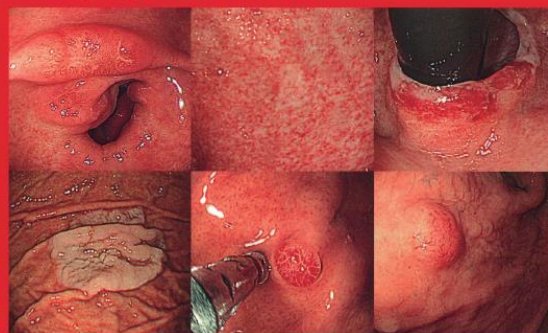
消化器内視鏡

ENDOSCOPIA DIGESTIVA

Vol. 32, No. 1
January 2020

胃癌診断を極める

Mastering Diagnosis of Gastric Cancer



【特集のポイント】

- ・胃癌の病理 - 胃粘膜に於いた胃癌の病理学的多様性 -
- ・胃腸胃粘膜・癌組織型に応じた早期胃癌内視鏡診断の基本
- ・H. pylori 現感染胃粘膜に生じる胃癌の内視鏡診断
- ・H. pylori 除菌後胃粘膜に生じる胃癌の内視鏡診断
- ・H. pylori 未感染胃粘膜に生じる胃癌の内視鏡診断
- ・EBV 関連胃癌の内視鏡診断
- ・A型胃炎（自己免疫性胃炎）胃粘膜に生じる胃癌の内視鏡診断

【連載】AI内視鏡の現状【第10回】

東京医学社

2020年 32巻

通常号：3,200円（税別）10冊
4,000円（税別）1冊
増大号：5,000円（税別）1冊
増刊号：8,000円（税別）1冊
年間購読：49,000円（税別）13冊

編集委員

編集主幹	岩男 泰 (慶應義塾大)	杉山政則 (杏林大)	神 信廣 (早期胃癌検診協会)	星原芳雄 (経済産業省診療所)
編集委員	赤松泰次 (信州医療センター)	有馬美和子 (埼玉県立がんセンター)	小原勝敏 (福島県立医大)	貝瀬 満 (日本医大)
	樫田博史 (近畿大)	河内 洋 (がん研有明病院)	長谷部修 (長野市民病院)	藤田直孝 (みやぎ健診プラザ)
	峯 徹哉 (東海大)	安田健治朗 (京都第二日赤)	矢作直久 (慶應義塾大)	山本博徳 (自治医大)

広告規格・締切

サイズ：	天地 220mm× 左右 150mm
広告原稿：	紙焼, フィルム, データ
広告申込締切	前月 10日
広告原稿締切	前月 25日
綴込納品締切	前月末日